

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社 WOWOW

上場取引所 東

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) IR 経理局長 (氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,204	2.5	5,824	12.6	6,211	12.3	4,285	12.0
29年3月期第2四半期	39,240	5.5	5,173	2.7	5,529	4.5	3,827	8.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,445百万円 (33.2%) 29年3月期第2四半期 3,338百万円 (7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	158.77	
29年3月期第2四半期	141.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	83,302	52,017	62.4
29年3月期	81,461	49,731	61.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 52,017百万円 29年3月期 49,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		80.00	80.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,500	5.4	9,000	11.3	9,400	8.6	6,500	4.4	240.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	28,844,400 株	29年3月期	28,844,400 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,853,212 株	29年3月期	1,853,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	26,991,227 株	29年3月期2Q	26,991,270 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は平成29年10月27日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催いたします。当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 四半期個別業績情報 (参考)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政治的・地政学的問題等の不安要因はあるものの、企業収益や雇用環境の改善を背景に、穏やかな回復基調が続いております。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、新たに株IMAGICAティーヴィ(平成29年10月1日付で株WOWOWプラスに商号変更しております)を連結子会社化したことなどにより、売上高は402億4百万円と前年同期に比べ9億63百万円(2.5%)の増収となりました。営業利益は番組費が前年同期に比べ減少したことなどにより、58億24百万円と前年同期に比べ6億51百万円(12.6%)の増益、経常利益は62億11百万円と前年同期に比べ6億81百万円(12.3%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億85百万円と前年同期に比べ4億57百万円(12.0%)の増益となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

新たに株IMAGICAティーヴィを連結子会社化したことなどにより、売上高は383億28百万円と前年同期に比べ19億8百万円(5.2%)の増収、セグメント利益は58億21百万円と前年同期に比べ5億21百万円(9.8%)の増益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第33期第2四半期	第34期第2四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	312,662	242,445	△70,217	△22.5%
解約件数	275,810	246,584	△29,226	△10.6%
正味加入件数	36,852	△4,139	△40,991	—
累計正味加入件数	2,841,526	2,819,046	△22,480	△0.8%
うち複数契約(注)	421,221	420,021	△1,200	△0.3%

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円(税込み)の視聴料金を972円(税込み)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

<テレマーケティング>

ECショップなどでのグッズ販売の減少などにより、売上高は35億80百万円と前年同期に比べ10億6百万円(△21.9%)の減収、セグメント利益は36百万円(前年同期は横浜拠点移転に伴う費用などが発生したため1億26百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は833億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億40百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が減少しましたが、固定資産で無形固定資産のその他及び投資その他の資産の投資有価証券が増加したことによるものです。

(負債)

負債は312億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億45百万円の減少となりました。主な要因は、固定負債でその他が増加しましたが、流動負債で買掛金が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は520億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億86百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、62.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ37億84百万円減少し、203億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は33億6百万円(前年同期比11億59百万円減)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益61億83百万円及び減価償却費15億85百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額28億43百万円及び法人税等の支払額14億42百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は48億29百万円(前年同期比40億19百万円増)となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出29億82百万円及び投資有価証券の取得による支出11億92百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は22億62百万円(前年同期比3億9百万円増)となりました。主な要因は、配当金の支払額21億59百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29(2017)年5月15日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成29年3月期決算短信(平成29年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR情報))

<https://corporate.wowow.co.jp>

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/01.html>

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,503	21,725
売掛金	4,877	5,440
商品及び製品	141	206
番組勘定	24,116	24,500
貯蔵品	54	50
繰延税金資産	1,142	1,182
その他	2,032	2,747
貸倒引当金	△121	△181
流動資産合計	57,747	55,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,042	1,990
機械及び装置(純額)	3,507	2,936
工具、器具及び備品(純額)	932	761
その他(純額)	5	159
有形固定資産合計	6,488	5,847
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	—	775
その他	2,201	4,281
無形固定資産合計	7,212	10,067
投資その他の資産		
投資有価証券	8,627	10,128
繰延税金資産	393	401
その他	1,014	1,214
貸倒引当金	△22	△29
投資その他の資産合計	10,013	11,715
固定資産合計	23,714	27,631
資産合計	81,461	83,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,298	21,059
未払法人税等	1,508	1,948
賞与引当金	66	113
その他	5,074	5,282
流動負債合計	29,947	28,403
固定負債		
退職給付に係る負債	1,656	1,766
その他	125	1,114
固定負債合計	1,782	2,880
負債合計	31,730	31,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	44,540	46,666
自己株式	△3,081	△3,081
株主資本合計	49,197	51,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	742
繰延ヘッジ損益	△78	△48
その他の包括利益累計額合計	533	693
純資産合計	49,731	52,017
負債純資産合計	81,461	83,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	39,240	40,204
売上原価	21,426	21,448
売上総利益	17,814	18,755
販売費及び一般管理費	12,641	12,931
営業利益	5,173	5,824
営業外収益		
受取利息	6	9
為替差益	141	105
持分法による投資利益	171	230
その他	37	40
営業外収益合計	356	386
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	5,529	6,211
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	24	30
特別損失合計	24	30
税金等調整前四半期純利益	5,505	6,183
法人税、住民税及び事業税	1,679	1,896
法人税等調整額	△2	1
法人税等合計	1,677	1,898
四半期純利益	3,827	4,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,827	4,285

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,827	4,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	131
繰延ヘッジ損益	△402	9
持分法適用会社に対する持分相当額	6	20
その他の包括利益合計	△488	160
四半期包括利益	3,338	4,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,338	4,445

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,505	6,183
減価償却費	1,664	1,585
のれん償却額	—	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	55
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4	52
受取利息及び受取配当金	△30	△36
為替差損益 (△は益)	183	△6
持分法による投資損益 (△は益)	△71	△141
固定資産除却損	24	30
固定資産売却損益 (△は益)	—	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	23	△73
前受収益の増減額 (△は減少)	2	411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,140	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,569	△2,843
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△681	687
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,132	△664
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1	△540
その他	2	4
小計	5,893	4,712
利息及び配当金の受取額	30	36
法人税等の支払額	△1,458	△1,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,466	3,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,551	△1,324
定期預金の払戻による収入	1,547	1,324
有形固定資産の取得による支出	△344	△356
有形固定資産の売却による収入	—	2
無形固定資産の取得による支出	△405	△357
投資有価証券の取得による支出	—	△1,192
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,982
貸付けによる支出	△0	△200
貸付金の回収による収入	—	220
敷金及び保証金の差入による支出	△64	△1
敷金及び保証金の回収による収入	9	1
その他	0	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△809	△4,829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△63	△102
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,889	△2,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,953	△2,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,693	△3,784
現金及び現金同等物の期首残高	16,526	24,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,219	20,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,325	1,879	40,204	—	40,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	1,701	1,704	△1,704	—
計	38,328	3,580	41,908	△1,704	40,204
セグメント利益	5,821	36	5,858	△33	5,824

(注) 1. セグメント利益の調整額△33百万円は、のれんの償却額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

第1四半期連結会計期間において、株IMAGICAティーヴィ（平成29年10月1日付で株WOWOWプラスに商号変更しております）の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「放送」において808百万円のれんが発生しております。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	38,325	105.2
テレマーケティング	1,879	66.5
合計	40,204	102.5

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入34,793百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,579	△1.6	5,632	8.1	5,939	6.1	4,100	6.2
29年3月期第2四半期	36,163	1.3	5,210	10.6	5,598	10.5	3,862	13.4

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
30年3月期第2四半期	75,236		45,986	
29年3月期	75,137		43,905	

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成30年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
30年3月期	72,300	△0.8	9,000	△8.9	6,300	△2.5	233.41

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。